



顧問 中田 章道 七段

発行責任者 山中 利夫



1 平成31年・新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

日頃は将棋の普及事業においてご指導及びご協力頂き、心からお礼申し上げます。

昨年も藤井聡太七段の大活躍で将棋界は追い風となり、更に豊島将之八段が棋聖と王位のタイトルを連続奪取して二冠を達成する偉業を果されました。

また、愛知県支部連合会は八事富士見子ども将棋教室支部、瀬戸将棋文化振興協会支部、愛知西支部の新規登録により36支部1,096名の会員数と1,000名の大台を超える団体になりました。

定例行事では第46回全国支部対抗戦・支部名人戦愛知県大会、第24回全国シニア将棋名人戦愛知県大会、第15回文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦、第3回名城大学杯将棋大会、テーブルマーク子ども将棋大会、ウッド・ワンダーランド2018、将棋フェスティバル2018、名古屋城子ども王位戦、第44回さなる杯小学生名人戦と例年にない連続する大きな課題を東海普及連合会と共にいずれも成功裏に終えることが出来ました。

ただ、さなる杯小学生名人戦地区大会（12月9日）の6会場（一宮・瀬戸・刈谷・岡崎・豊田・豊橋）は名古屋に変わって瀬戸で実施されました。参加人数は全体で293人と前回より50人（15%）減少しました。これは将棋連盟の方針で名古屋会場の変更と、直前に刈谷・豊田両地区にタイトルホルダーの渡辺明棋王と久保利明王将を急遽派遣されることが決まり、配布するチラシが遅れた事も一因と考えられます。各地区でご協力頂いた関係者に改めて厚くお礼申し上げます。

また、藤井聡太七段の活躍で新たなイベント及び子供将棋大会の依頼が殺到しています。将棋の普及は児童館、支部教室に加えて寺院、学習塾、ヤマダ電機、文化センター、カルチャーセンター、幼稚園などで既に実施しています。今年も増々将棋指導員の活躍の場が増えると思います。我こそはと思われる将棋大好き人間の皆さん！今年こそはライフワークとして将棋指導員の資格を取得されてはいかがでしょうか？既に指導員の方は友人知人の紹介もよろしくお願ひします。詳細は東海普及連合会または愛知県支部連合会（会報最終ページの連絡先）まで問合せ下さい。

最後に、引き続き愛知県支部連合会の取組にご理解とご協力を頂くことをお願ひし、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成31年正月吉日 愛知県支部連合会会長 山中利夫

2 25年目の県支部連合会総会を迎えるにあたって

今では全国的に将棋の普及の先進地域と言われる東海地域、なかでも愛知県においては平成7年当時13支部が存在していましたが、その中心的な役割を果たすべき愛知県支部連合会が機能しているとは言いえない状態でした。また将棋普及の中心的存在だった故板谷進九段を失った東海棋界は、その進むべき方向をだれが担うかはっきりしないままでした。

平成7年2月に大村和久八段の昇段祝いを機に、愛知県支部連合会の活動を組織的に再開することになりました。それまではそれぞれが普及活動を進めてはいましたが、県連組織としての普及活動は全くない状況でした。

そこで県下の支部役員の合意のもとに確立された愛知県支部連合会が、最初に手掛けたことがいくつかあります。第一に、県支部連合会の総会及び支部長・将棋指導員合同会議を年各一回開催すること（24年前から毎年2回5,000円会費で会議と懇親会を休まず開催）。第二に県支部連合会役員会を毎月必ず開催すること（以来一度も休まず2018年12月で第287回役員会を開催）。第三に県支部連合会会報を必ず発行して、各支部との情報を共有して関係を緊密にすること（2018年12月286号を発行 東海普及連合会HPに掲載）。第四に各支部から県連会費を納入してもらうこと（総会欠席支部にも総会資料を送付して、会費の納入を依頼）。以上のことが、「頂へ 藤井聡太を生んだもの」（岡村淳司著）にも詳しく紹介されています。

当初の活動目標は、第一に名古屋市児童館から始めたこども達への将棋の普及です（現在は13館一参加指導員約50名）。現在は県下に官・民含めて数十か所のこども将棋講座が開催されています。第二は、ここで少し強くなったこどものための「こどもスクール」の開設（板谷将棋教室～栄将棋教室）。第三に、5人制団体オープン戦の開催（日曜日ごとの開催で年3回現在第77回32チーム）。以上に加え、現在では第四に栄将棋教室における水曜日トーナメントの開催（毎回約30名が参加）。第五に、プロ棋士による将棋教室の開催（中山六段、月、火、金）（竹内貴浩四段、土）（中澤沙耶女流初段、木）などです。

また、理念としては「こどもたちがどこに住んでいても将棋を学べる環境の整備」を掲げて、支部そして指導員の存在の将棋普及ネットワークをより細かい網の目にすることを目指してきています。（現在36支部、将棋指導員約170名）

昨年6月に愛知県支部連合会副会長で東海普及連合会事務局の田中一好さん（棋道指導員）が亡くなり、愛知県支部連合会及び東海普及連合会も大きな困難に直面しました。しかし、多くの皆さんの一層の協力を得て、何とか普及活動を継続してきました。

藤井聡太七段の出現によって将棋を取り巻く環境は、今日大きく変化しつつあります。将棋を指さない多くの皆さんが、将棋のイベントに参加をされる状況が生まれています。このためイベントでは必ず初心者コーナーを開設するようにしています。私たちの将棋普及活動も、より親切で初心者にわかりやすい内容が求められています。

各支部及び将棋指導員のみなさんが最前線で将棋普及を進めやすいよう、愛知県支部連合会及び東海普及連合会の援助がより重要となっています。

このような現状に対応する愛知県支部連合会は、2月3日の総会でより一層若くて有能な役員を多く迎えて急速に増加する課題に取り組みたいと考えています。

愛知県支部連合会幹事長 竹河伊知郎

3 今年も県下6地区で一斉開催 第44回さなる杯小学生将棋名人戦

今年のさなる杯は少し全国レベルの話合いが遅れ、名古屋・新栄校での開催ができませんでした。愛知県支部連合会は役員会で協議して名古屋市内の他の会場での開催を強く要請しましたが、最終的に名古屋・新栄校に代わり瀬戸本部校での開催となりました。

12月9日（日）、この地区大会に派遣された棋士は、豊橋会場が、長沼洋七段、安用寺孝功六段。豊田会場が、久保利明王将、中田章道七段、西田拓也四段。岡崎会場は、東和男八段、脇謙二八段（常務理事）。刈谷会場は、渡辺明棋王、神崎健二八段、平藤眞吉七段。瀬戸会場は、畠山鎮七段、西川和宏六段。一宮会場は、北浜健介八段、増田裕司六段。合計14名の棋士の皆さんが各会場にて、開会の挨拶、父兄へのミニ講演、写真撮影（一部）、指導対局などを行いました。また連盟の職



員として豊田会場に吉田さん、刈谷会場に小田切さんが同行されました。

各地区名人戦クラスのベスト4が1月20日(日)名古屋・新栄校で開催される愛知県大会に参加して、愛知県代表の座を競います。

今回棋士派遣では格別な対応をしていただきましたが、参加者総数は昨年の343名を大きく下回る293名に止まりました。この結果は今後の課題として受け止めて、より一層の多くのこどもたちが参加できる大会にして行く必要があります。そういう意味でもより早くからの準備と、名古屋地区での開催をぜひ来年は実現したいと考えています。

		優勝	準優勝	第三位	第四位
瀬戸	名人戦 25名	古野 知典 (瀬戸市立水南小5)	畑 幸佑 (犬山市立犬山北小4)	根津 智成 (春日井市立木二小4)	奥村 栞吉 (春日井市立石尾台小3)
	高学年 9名	両角 慶太 (長久手市立南小4)	山田 将斗 (名古屋市立小幡小5)	水野 優 (名古屋市立小幡小5)	田中 康佑 (瀬戸市立陶原小4)
	低学年 9名	濱口 峻大 (春日井市立勝川小2)	中川 雄大 (春日井市立出川小3)	杉本 京介 (名古屋市立筒井小3)	藤島 愛杜 (瀬戸市立幡山東小2)
一宮	名人戦 22名	伊覇 逞 (名古屋市立西味鏡小5)	安本 興生 (弥富市立弥生小2)	佐々 泰太 (名古屋市立東志賀小5)	宮崎 琉都 (名古屋市立東山小5)
	高学年 16名	岩田 悠佑 (各務原市立那加第一小6)	森部 一馬 (稲沢市立下津小6)	政岡 雅 (稲沢市立下津小6)	辻 宏規 (稲沢市立大里東小6)
	低学年 16名	坂井 保行 (小牧市立小牧南小1)	佐保 遥彦 (名古屋市立名北小2)	大岩 啓人 (小牧市立味岡小3)	小島 瑞稀 (名古屋市立正木小1)
刈谷	名人戦 20名	野村 權 (名古屋市立森孝西小5)	八谷 凌 (半田市立横川小5)	大草 歩睦 (名古屋市立自由ヶ丘小3)	石川 慶悟 (知立市立知立小4)
	高学年 16名	八田 勝友 (新城市立東郷東小6)	松田 侑大 (東浦町立卯ノ里小6)	柳 直大 (名古屋市立平針南小4)	土井 直輝 (東浦町立生路小4)
	低学年 32名	中村 壮翔 (半田市立花園小2)	山中 惇史 (安城市立三河安城小2)	坂井 慶一郎 (東海市立加木屋南小3)	末次 遼伍 (刈谷市立小高原小2)
豊田	名人戦 16名	鈴木 遙悟 (長久手市立西小4)	橋爪 遼 (東郷町立高嶺小5)	小島 瑞葵 (愛教大附属小2)	不破 寛登 (日進市立南小4)
	高学年 27名	柴田 純太 (みよし市立中部小5)	山下 雄生 (豊田市立若林東小6)	若林 卓実 (名古屋市立上社小4)	佐々木 健斗 (豊田市立根川小5)
	低学年 15名	清水 太陽 (みよし市立三好ヶ丘小2)	伊藤 侑輝 (豊田市立衣丘小2)	梅村 明希 (豊田市立東山小2)	須田 大駿 (豊田市立衣丘小3)
豊橋	名人戦 16名	白木 大輔 (豊橋市立幸小5)	白井 亮太郎 (豊橋市立旭小5)	鬼頭 直寛 (名古屋市立貴船小5)	後藤 諒大 (豊川市立国府小5)
	高学年 4名	安藤 仁 (蒲郡市立北部小5)	梶川 達平 (豊橋市立幸小4)	坂東 優蕾 (豊橋市立幸小5)	清水 聡真 (東郷町立東田小4)
	低学年 13名	佐藤 大仁 (浜松市立庄内小1)	佐藤 慎誠 (豊橋市立向山小3)	加藤 優弥 (豊橋市立下地小2)	松本 剛太 (豊橋市立牛川小1)
岡崎	名人戦 8名	櫛田 征志 (名古屋市立なごや小3)	安永 悠太 (みよし市立天王小4)	川嶋 脩真 (西尾市立八ツ面小3)	山田 康雅 (日進市立日進西小4)
	高学年 16名	柴田 克久 (岡崎市立立男川小6)	川口 大介 (美浜町立上野間小6)	工藤 京一 (岡崎市立六ツ美北部小6)	柴田 侑賀 (岡崎市立北野小4)
	低学年 13名	林 勇颯 (豊明市立栄小3)	安部 圭矢 (幸田町立豊坂小1)	工藤 庵 (岡崎市立六ツ美北部小3)	田代 悠晴 (岡崎市立岡崎小2)

4 西尾将棋大会

しまった！と思ったら部屋の予約日が過ぎていました。ほかの運営も忙しかったので今回はやめようかなとも思いましたが、問い合わせも多く、楽しみにしていた小学生からも声をかけられたので、12月に開催しました。

当日は寒波到来、2月並みの寒さの予報が出ていたので温かい飲み物を用意しましたが、参加数が意外と多かったのとみなさんの熱気(?)で、冷たい飲み物ばかり減ってしまいました。運営的には嬉しいことです。小学生の部では、4回目の挑戦で地元の岡田桜大君が優勝しました。おめでとうございます！



西尾支部・棋道指導員 大阪徹二

	優勝	準優勝	第三位
A級 8名	鷹野 淳 (磐田市)	三輪 宏治 (幸田町)	京 文雄 (岡崎市)
B級 7名	犬塚 隆文 (西尾市)	伊藤 登 (岡崎市)	高橋 與四二 (安城市)
C級 6名	本村 光男 (半田市)	富士田 光志 (安城市)	酒井 那月 (岡崎市)
小学生 21名	岡田 桜大 (西尾市)	田代 悠晴 (岡崎市)	杉浦 朋樹 (西尾市)

5 歓迎！澤田真吾六段指導対局開催

南陽交流プラザでの将棋教室は毎月の第一第三日曜の10時から12時まで開催されています。園児からシニア世代まで幅広い参加者で賑わっています。この地区近郊の在住者はもとより遠方からの参加者も多く、さらに毎回必ずといっていいほど新しく希望者が参加しています。

さて、毎年恒例となった澤田真吾六段を招いての指導対局はいつも人気があり、今回は遠方からの参加者もあり会場は満室に近い60名超となりました。



地元鈴鹿出身の澤田六段は子供達の人気が高く、指導対局希望者は定員限度の20名となり予定時間を大幅に過ぎるほど大盛況でした。指導対局では8枚落ち、6枚落ち、4枚落ち、2枚落ちの指導が行われました。例年になく澤田六段の容赦ない？厳しくも愛情のある対局では子供達の投了が連続し、主催側はひやひや。最年少5歳の幼年クラスではベソをかきそうになりながらも懸命にこらえている場面が・・・それでも終局後のアドバイスに真剣な眼差しで聞き入っていた子供達が印象的でした。よかった。一方で2枚落ちで臨んだ高学年生は見事に攻めきり成長ぶりを発揮していました。恒例なので去年の対局者の顔ぶれも記憶にありやさしくコメントしていただきました。

最後の澤田六段の総評では、来場毎に棋力が上がっていると実感しているとお褒めの言葉をいただきました。また自身の趣味などの紹介もあり会場は和やかなうちに時間が過ぎ

ました。指導対局は4回目となりましたが、実は今年「名古屋西南支部」として発足後の開催は初めてとなりました。発足まもなく支部員は総勢14名です。今後もさらに活性化させ活動していきたいと思えます。当支部員の加入希望者は一報いただけますよう関係者一同お待ちしております。定期開催予定は以下のURLをご覧ください。

南陽交流プラザ <http://cc-nanyou.com/>

名古屋西南支部 坂野和重

6 第98回中部職域団体対抗将棋大会

12月2日(日)、中日新聞社において、第98回中部職域団体対抗将棋大会が開催され、22チームの参加がありました。A級はデンソーが連覇を達成しました。

	優勝	準優勝
A級 6チーム	デンソー	名古屋市役所 A
B級 8チーム	三重県庁	愛知県庁
C級 8チーム	日本税理士会	名古屋市役所 B

7 第1回熱田こども将棋大会

- (1) と き 平成31年1月12日(土) AM9:00～受付 AM10:00対局開始
- (2) と ころ 熱田神宮文化殿講堂
- (3) ク ラ ス 小学2年生以下、小学3・4年生、小学5・6年生
- (4) 定 員 各クラス50名
- (5) 参 加 費 1,000円
- (6) 参加棋士 斎藤慎太郎王座 杉本昌隆七段 澤田真吾六段 中山則男六段
竹内貴浩四段 室田伊緒女流二段 谷口由紀女流二段
中澤沙耶女流初段 脇田菜々子女流2級
- (7) 主 催 日本将棋連盟東海普及連合会
- (8) 後 援 中日新聞社 愛知県・同教育委員会 名古屋市・同教育委員会

8 さなる杯第44回小学生将棋名人戦愛知県大会

- (1) と き 平成31年1月20日(日) AM9:00～受付 AM10:00対局開始
- (2) と ころ さなる名古屋新栄校
名古屋市中区葵1-22-13 電話052-933-1001
- (3) 内 容 第44回小学生将棋名人戦愛知県大会
小学生交流将棋大会 高学年(4年以上) 低学年(3年以下)
プロ棋士指導対局、プロ棋士によるミニ講演
- (4) 参 加 費 小学生交流将棋大会1,000円(さなる在校生は無料・IDカードを持参)
- (5) 表 彰 第三位までに賞状・賞品、第四位に賞品
- (6) 参加棋士 森下卓九段
- (7) 主 催 日本将棋連盟愛知県支部連合会
- (8) 協 賛 株式会社さなる
- (9) 後 援 中日新聞社 愛知県・同教育委員会 名古屋市・同教育委員会
- (10) 協 力 日本将棋連盟 日本将棋連盟東海普及連合会
- (11) 問 合 せ 日本将棋連盟愛知県支部連合会 電話052-253-9441

9 第48回全国支部将棋対抗戦(団体戦・個人戦)愛知県大会

- (1) と き 平成31年2月3日(日) AM9:30～受付 AM10:00対局開始

- (2) ところ 名古屋港湾会館
- (3) 資格 団体戦 愛知県の支部会員、三段以下
個人戦 愛知県の支部会員及び愛知県が居住地の個人会員
一般戦A・B 誰でも参加できます。
- (4) 参加費 団体戦 1チーム6,000円
個人戦 2,000円
一般戦A・B 1,000円
- (5) 申込方法 団体戦は所属支部を通じて1月31日(木)までに。
個人戦は2月1日(金)までに。
- (6) 表彰 団体戦代表1チーム、個人戦代表1名は平成31年4月19日(金)～21日(日)にザマーカススクエア神戸で開催される西地区大会に出場。
- (7) 主催 日本将棋連盟愛知県支部連合会
- (8) 問合せ 日本将棋連盟愛知県支部連合会 電話052-253-9441

10 第26回全国シニア将棋名人戦愛知県大会

- (1) と き 平成31年2月3日(日) AM9:30～受付 AM10:00対局開始
- (2) ところ 名古屋港湾会館
- (3) 資格 平成31年1月1日現在60歳以上であること
愛知県の支部会員及び愛知県が居住地の個人会員
- (4) 参加費 2,000円
- (5) 申込方法 所属支部を通じて1月31日(木)までに。
- (6) 表彰 代表1名は平成31年4月19日(金)～21日(日)にザマーカススクエア神戸で開催される西地区大会に出場。
前年度愛知県代表は代表資格がありません。
- (7) 主催 日本将棋連盟愛知県支部連合会
- (8) 問合せ 日本将棋連盟愛知県支部連合会 電話052-253-9441

11 今後の予定

- 1月12日(土) 第1回熱田こども将棋大会
- 1月20日(日) さなる杯第44回小学生将棋名人戦愛知県大会
- 1月27日(日) 将棋指導者講習会
- 2月3日(日) 日本将棋連盟愛知県支部連合会総会
- 2月3日(日) 第48回全国支部将棋対抗戦(団体戦・個人戦)愛知県大会
- 2月3日(日) 第26回全国シニア将棋名人戦愛知県大会
- 2月17日(日) セントレア将棋フェスティバル2019
- 3月1日(金) 第77期A級順位戦最終局速報解説会

会報の配信をご希望の方は東海普及連合会事務所までご連絡ください。

東海普及連合会ホームページ (http://www.geocities.jp/shogi_tokai/index.html) からダウンロードしていただくこともできます。

東海普及連合会、愛知県支部連合会へのご意見がございましたら遠慮なくご連絡ください。
東海普及連合会事務所

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A

電話 052-253-9441 FAX 052-253-9442 E-mail shogi_tokai@ybb.ne.jp